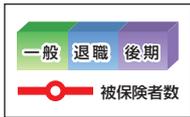
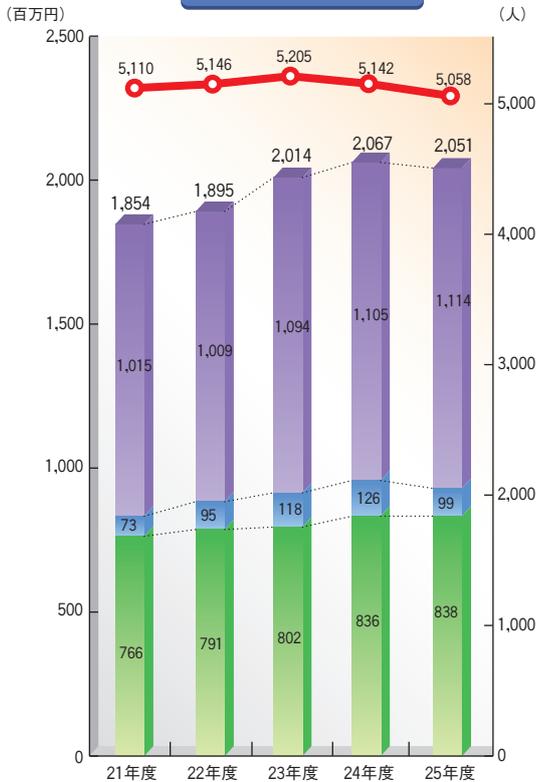


市 貝 町

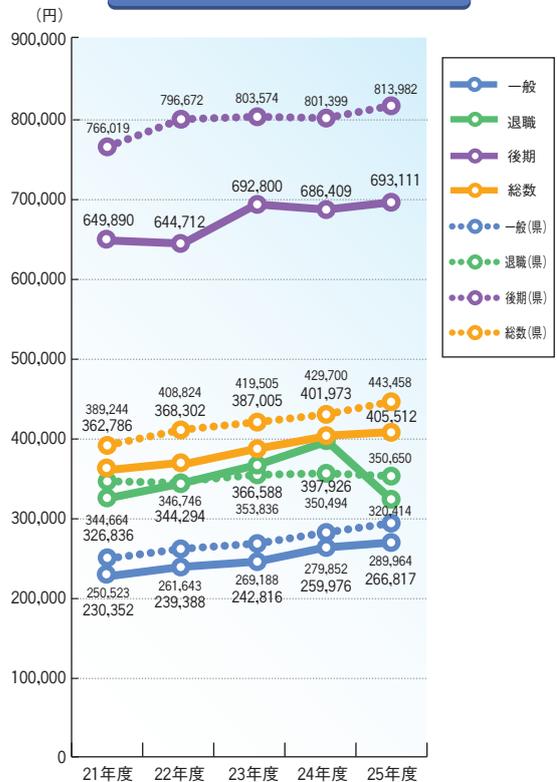
# 市貝町



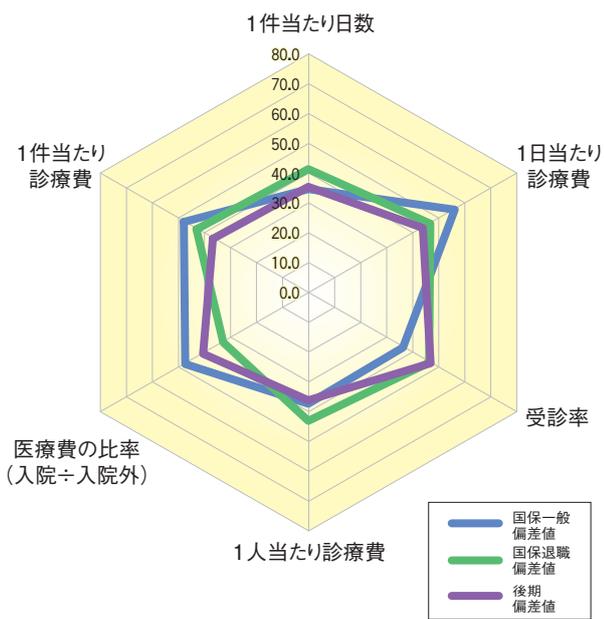
## 医療費の推移



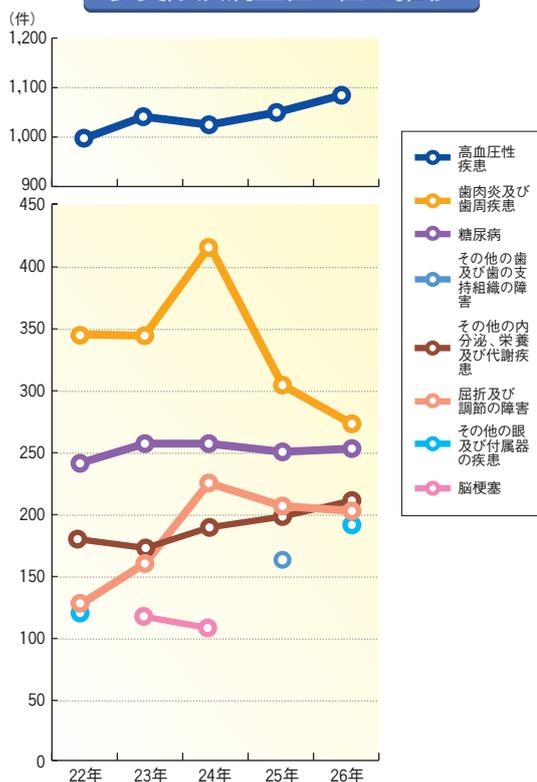
## 1人当たり医療費の推移



## 平成25年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



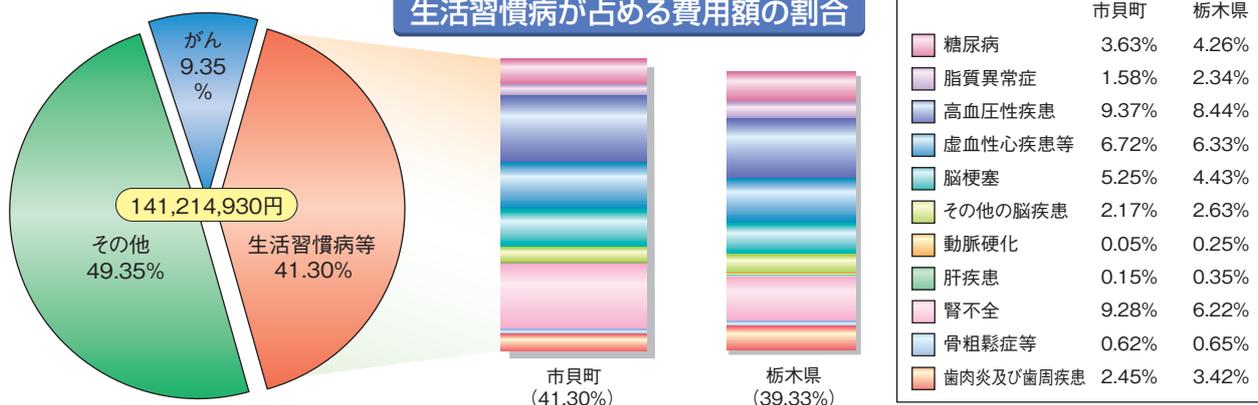
## 多受診疾病上位6位の推移



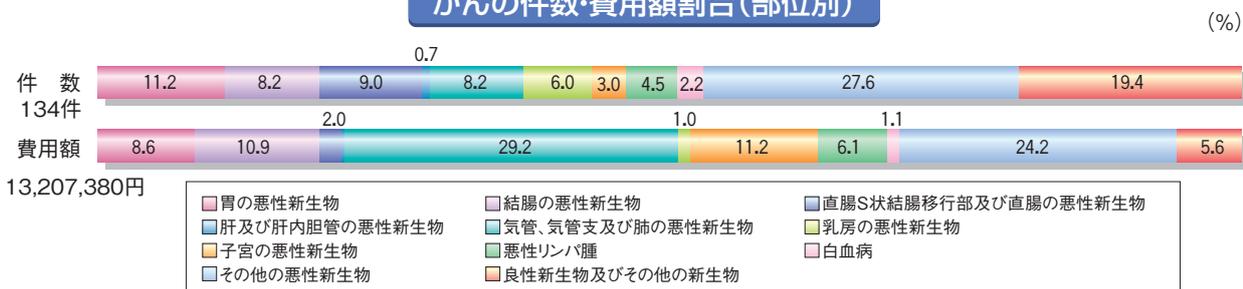
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 市貝町の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般838,340千円(100.3%)、退職99,008千円(78.7%)、後期1,113,598千円(100.8%)で、全体では2,050,946千円(99.2%)と減少している。( )は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は5,058人で、内訳は一般3,142人、退職309人、後期1,607人である。前年度比較すると全体で98.4%と減少している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は405,512円(3,539円増)、一般は266,817円(6,841円増)、退職は320,414円(77,512円減)、後期は693,111円(6,702円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般の1日当たりの診療費以外の諸率は県平均を下回る低い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成26年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患、5位屈折及び調節の障害はここ2年減少傾向にある。また、6位のその他の歯及び歯の支持組織の障害は平成22年と比べると件数で1.67倍、費用額で1.77倍に増加している。

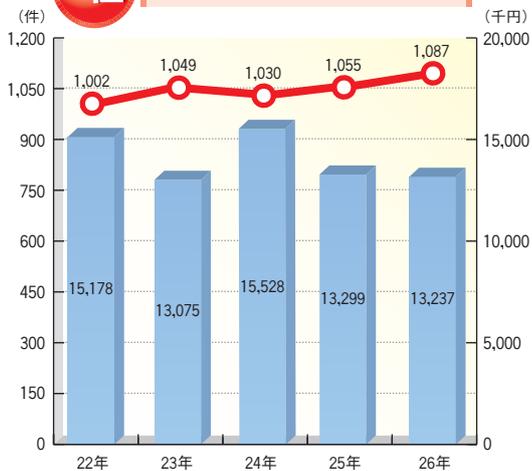
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも脂質異常症以外の構成比は高い。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が141,214,930円で、がんが9.35%、生活習慣病関連が41.30%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.37%、腎不全9.28%、虚血性心疾患等6.72%となっている。

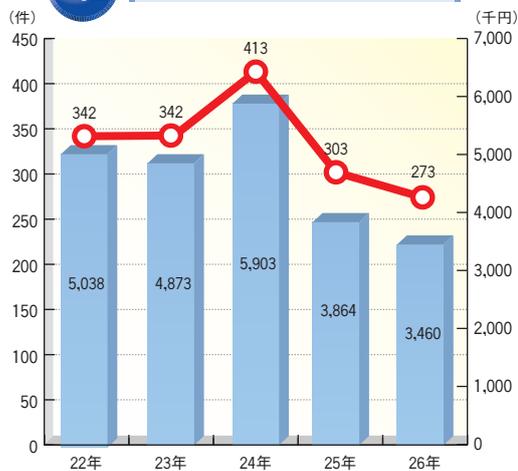
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では胃の悪性新生物、費用額では気管、気管支及び肺の悪性新生物の割合が高くなっている。

## 多受診疾病 上位6の年次推移

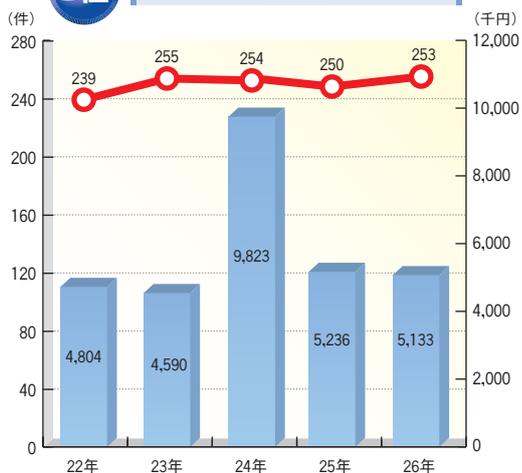
### 1位 高血圧性疾患



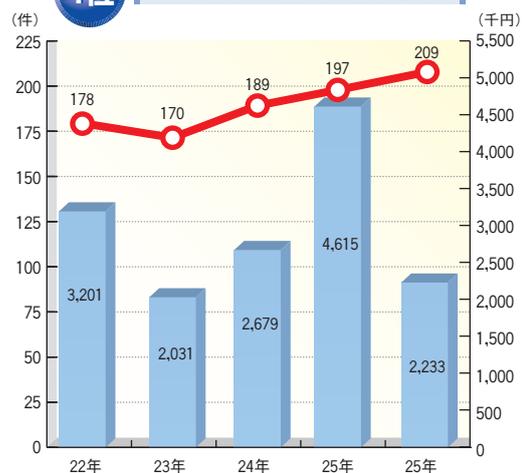
### 2位 歯肉炎及び歯周疾患



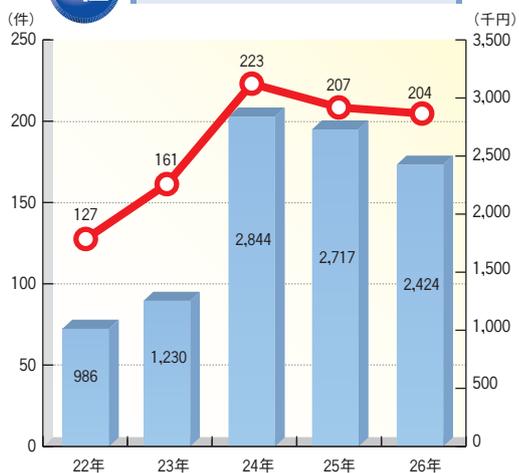
### 3位 糖尿病



### 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



### 5位 屈折及び調節の障害



### 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

